

【単元名】 洋二小のみんなに洋光台の町のおすすめしたいものや、その理由が明確になるように紹介文を書き、友達と読み合って感想を伝えよう。

【教材名】 「わたしの町のよいところ」（光村図書）

【単元目標】

洋光台の町のよいところを書くときに、自分が洋二小の友だちに紹介したいと思ったことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。

【指導事項】

- ◎考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係を理解する。（知（2）ア）
 - 書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。（思B（1）オ）
 - 相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にする。（思ア）
 - 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫する。（思ウ）
- 【言語活動】 調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。

【評価規準】

〈知識・技能〉

- ・考えとそれを支える理由について理解している。（知（2）ア）

〈思考・判断・表現〉

- ・「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。（思B（1）オ）
- ・相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確に書こうとしている。（思ア）
- ・自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫しようとしている。（思ウ）

〈主体的に学習に取り組む態度〉

- ・積極的に文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけ、学習課題に沿って町のよさを紹介する文章を書こうとしている。

【単元計画】（全10時間）

- | | |
|-------|---|
| 第1時 | 自分の問いを基に、題材について考えを広げ、学習課題につなげ、学習計画を立てる。 |
| 第2・3時 | 紹介したいものを決めるために、図を用いてその理由を詳しく書き出し、友達と交流してさらに考えを広げる。 |
| 第4・5時 | 考えた内容を、組み立てに沿って整理する。 |
| 第6～8時 | 紹介したいものとその理由の関係を明確にして書き表し方を工夫するとともに、読み返して検討し、文や文章を整える。 |
| 第9時 | 紹介したいものやその理由が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合う。（本時）（9/10） |
| 第10時 | 友達にももらった感想から自分の文章のよいところを見つけるとともに、単元の学習を振り返り、今後活かそうという意欲をもつ。 |

【本時目標】 洋光台の町を紹介するために、紹介したいものやその理由が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合うことができる。

学習活動

◆導入◆【課題の設定】

1. 本時の活動の流れを確認する。

友達が書いた文章を読んで、「理由の書き方がよかったところ」を友だちに教えて、感想を伝え合おう。

2. 共有ノートで自分のめあてを設定する。

◆展開1◆「情報の収集」「整理・分析」

○感想の伝え方や大事なことを話し合う。

• 感想を交流するポイントを示し、「内容」と「書き方」の両面から友達の理由の書き方のよさを見つける。

• 文章を友達と読み合い、多くの児童同士で交流し感想を伝え合う。

• 読んだ感想を「内容」と「書き方」に分けて付箋に書いて友達と交流する。

• 文章を読み合った感想を、全体で共有する。

予想される児童の考え

• このおすすめを読んだら、他の学年の人が来てくれるね。
• 同じ公園のことを書いたけど、私は書かなかったの、こんなことも書くといいんだね。次書くときは、この書き方を使いたい。

• がんばって調べたことに気がついてもらって、うれしい。
• この紹介文を、「にじ色洋光台おすすめ安全手作りマップ」と一緒に全校のみんなに見てもらおうのが楽しみです。
• 今日友だちにたくさんよいところを教えてもらったので、また書きたい。

指導の手立て 【★評価】

【「個別最適な学び」をめざすための手立て】

- どんなことに着目して感想を伝えるとよいか、ポイントを見返すことができるようにタブレット端末にカードを用意したり、教室に掲示物を用意しておく。
- 自分で活動が進められない児童のために、「感想を伝え合うときは」「感想を伝えるときの言葉」から選んで感想が伝えられるように、カードを用意しておく。
- 違う場所や物を選んだ児童が他の友だちの文章を読み、理由の書き方でよく書けているところを見つけ、感想を伝えることで、文章を書くことに自信をもち、次にもまた書きたいという気持ちをもつことができる。
- 伝えたい相手に、分かりやすく伝えることができるかを考える。

【「協働的な学び」をめざすための手立て】

- 友達と交流できるように共有ノートに書き込むことで、友達がどのようなよさに気付いているのか知ることができ、考えを深めることができる。
- 友達から感想をもらうことによって、自分の考えを広げることができる。
- 図や絵などを取り入れて分かりやすい文章を書いている児童に相談するなど、自由に意見を交換する。

- 既習事項をいつでも見れるようにロイロノート上で確認できるようにする。
- 「感想を伝え合うときは」「感想を伝えるときの言葉」に書かれている内容を確認して、書かれている内容に理由が示され、読み手に伝わるような内容になっているか、感想を伝えられるようにする。
- 思考ツールをいつでも確認できるように、掲示する。

自分の言葉で表現することが難しい児童には

感想文例のツールを使って、□の言葉を変えながら、自分の感想を伝える。

自分の言葉で表現することができた児童には

教師が用意した感想例を参考にしながら、「感想を伝える時の言葉」を使って、自分の感想を伝える。

自分なりの工夫をして表現することができた児童には

自分の感想を、内容と書き方に分けて書き、わかりやすく理由が書けていると思ったことを相手に伝えるように書き、感想を伝える。

【「個別最適な学び」をめざすための手立て】

- 共有ノートでの振り返り
 - 感想の書き方で悩んでいる児童に、ヒントを伝えながら、進められるようにする。
 - 自信をもって書き込みができるように声をかける。
 - 困っている友だちに、考え方を教えながら交流する。

◆終末◆「まとめ・表現」

1. 共有ノートを用いて、振り返りを行う。

2. 次回の活動の確認をする。

★「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。(思B(1)オ)【活動の様子・学習カード】